

## 行き方

### 公共交通機関を利用の場合

JR 上越線沼田駅から関越交通佐山行きバスで「石墨一本松」停留所下車（約30分）、徒歩2分（佐山行きバス1日に6本）

### 自動車をご利用の場合

- 関越自動車道→沼田IC 信号を国道17号・沼田市街方面右折→国道120号上原町信号を右折→関越自動車道側道を直進約3km→県道道木佐山沼田線との交差点（信号脇に案内表示有り）を右折直進約700m→酒屋の前方を斜めに左折して約200m
  - 国道17号沼田バイパス恩田西信号を迦葉山方面→恩田町信号を直進→下沼田町信号を迦葉山方面左折→県道道木佐山沼田線善桂寺町信号を佐山方面左折→県道道木佐山沼田線を直進約1km→酒屋の前方を斜めに左折して約200m
- ※カーナビゲーションをご利用の場合、沼田市石墨町1777番地（石墨大神宮）を指定するとスムーズです。

### タクシーをご利用の場合

- JR 上越線沼田駅から約15分

## 見学をする上で注意点

- 車は隣接する石墨大神宮の庭に駐車してください。大型バスは入れません。
- 大クワ保護のため、周辺は木道と柵が整備されていますので、木道上をお歩きください。

## 位置図



## 問い合わせ先

沼田市教育委員会 社会教育課 文化財保護係

TEL 0278-23-7565



沼田市

薄根の大クワは、沼田盆地の四釜川沿いの畠地の中にあるヤマグワです。かつてはこの周辺でも養蚕が盛んで、周囲は一面の桑畠でした。また、近くには蚕の卵を保管する天然の冷蔵施設である利根風穴がありました。

薄根の大クワはヤマグワでは日本一の大きさで、根元周囲約5.7m、樹高約13m、枝張りは東西に約18m、南北に約17m。新潟県佐渡市の羽吉の大クワ、北海道小樽市の恵美須神社の大クワとともに、日本のクワの三名木といわれています。また、羽吉の大クワは樹齢1300年とされており、薄根の大クワはこれより幹が太いことから、樹齢1500年と推定されます。

- ◆指定名称 薄根の大クワ
- ◆指定年月日 昭和31年5月15日
- ◆所在地 沼田市石墨町地内  
(沼田市町田町2083)
- ◆指定面積 66m<sup>2</sup>
- ◆所有者 個人
- ◆管理者 沼田市



▲畠の中に鎮座する大クワ

江戸時代、沼田藩主真田伊賀守信利が改易になり、幕府に領地を没収された後、貞享3年(1686)に前橋藩の家老高須隼人が、旧沼田藩内の再検地を行い、石墨村を検地する際には、この大クワを検地の標木(測量の基準)にしたといわれています。幹太く容姿端正なことで、「養蚕の神」として永くたたえられてきました。

大クワの幹▼



▲雪の大クワ

薄根の大クワは、群馬県で古くから養蚕が盛んであったことを示すと同時に、地域の人々が代々大切に守ってきた重要な文化財です。こうしたことから、世界遺産となった「富岡製糸場と絹産業遺産群」の一候補でありましたが、現在は主要な絹遺産として「ぐんま絹遺産」に登録されています。



▲昭和30年代前半頃の大クワ